【令和８年度第１回愛媛県認知症施策推進会議　会議結果概要】

１　会議の名称

令和８年度第１回愛媛県認知症施策推進会議

２　開催日時

令和８年８月２６日（水）18：00～19:30

３　開催場所

愛媛県総合社会福祉会館　４階　視聴覚室

※現地とオンラインのハイブリット開催

４　出席者

構成員１１名

事務局　６名（長寿介護課）

関係課　１名（健康増進課）

計１８名

５　内容

（１）開会

（２）局長挨拶

（３）構成員紹介

（４）議事

①愛媛県認知症施策推進計画（仮称）について

②えひめ認知症希望大使の委嘱について

（５）その他

（６）閉会

６　審議の内容（全部公開・傍聴者０名）

（１）愛媛県認知症施策推進計画（仮称）について＜資料１＞

先に開催された「愛媛県認知症施策推進会議ワーキンググループ」の結果を報告するとともに、愛媛県の認知症施策推進計画（仮称）の構成・施策体系、基本理念及び重点目標について、令和７年第２回認知症施策推進会議等での意見を反

映し、認知症施策推進計画策定意見交換会での本人・家族・関係者の意見を説明した。

【構成員からの主な意見】

・普及啓発の取組の一つとして、映画「オレンジ・ランプ」を上映した結果、「認知症観が変わった」という声が多く挙がり、啓発効果を実感している。
・グループホーム入居者など、実際に認知症で入居されている方々に対しても認知症理解の啓発を実施してはどうか。
・日本認知症官民協議会が飲食店、金融機関、運動施設等に対する本人が感じるバリアについてまとめており、県内企業への浸透を期待する。
・計画には精神科の役割を明記してほしい。
・認知症は、軽度・中度・重度の大きく３つに分類され、対応に苦慮しているのは、末期の手前の徘徊などの行動や末期の方の対応である。
・初期（軽度者向け）の認知症啓発も重要であるが、重度の方に対する施策として、進行が進んだご本人、ご家族へのケアも重要である。
・グループホームでも受入拒否が発生している事例があり、施設の質の向上が求められている。
・今後、家族等のつながりがない身寄りのない認知症高齢者が行方不明となった際に、捜索願が出されず、仮名で施設入所するケースが増加する懸念がある。
・行方不明高齢者に関して、一部のご家族は危機感が薄く、認知症に対する理解や啓発の必要性を実感している。

（２）えひめ認知症希望大使の委嘱について＜資料２＞

先に開催された「愛媛県認知症施策推進会議ワーキンググループ」の結果を報告するとともに、えひめ認知症希望大使の２名の委嘱及び今後の本人発信の方向性について意見を伺った。

【構成員からの主な意見】

・本人の持つ力は専門職以上であると感じており、希望大使の存在に勇気づけられた人は少なからず愛媛にもいるはずなので、本人が勇気を持って発言できる環境づくりや前向きな発信者を生み出すことを目標としてはどうか。
・地域の認知症カフェなどでの広報活動での活躍を期待している。

〔事務局〕保健福祉部生きがい推進局
長寿介護課介護予防係
電話　089-912-2431
FAX　089-935-8075